



さざんか

かとう学園 宗像市立河東中学校
学校通信第52号(R6. 3. 12)

第38回卒業証書授与式により209名の9年生が本校を卒業しました



石橋彩香さんの素敵な送辞

学級代表者に卒業証書を授与

フィナーレを飾った9年生の卒業合唱

3月8日(金)、桜の蕾がふくらみ、鶯の音が聞こえるようになった春の日、河東中学校で3年間学んだ9年生209名が卒業の日を迎えました。日々の授業、体育祭や文化祭などの行事、部活動や生徒会活動で多くの業績と結果を出してきた9年生。晴れやかで充実した姿で本校を巣立っていきました。河東中にたくさんの足跡を残し新たな文化を築き上げてくれました。9年生が創り出した新しい文化と伝統を7・8年生は引継ぎ、更に河東中を発展させていきましょう。裏面に貞光さんの答辞を掲載していますのでじっくり読んでください。

授業研修の風景

今週は5本の授業研修が予定されています。教科はもちろん、道徳や学活での授業の在り方について、日々先生たちが研究している成果を発表してくれています。9年生が残した足跡の一つである「授業を大切にする文化」も継承していきましょう。

翁林先生(道徳)

3月11日(月)8年3組で行われた翁林先生による道徳の公開授業。「私は14歳」という道徳の教材をもとに主人公の心情について考えていきました。



部活動やクラブチーム、習い事などをやめようと思ったことがある人も多いのではないのでしょうか。14歳の主人公は小学校から続けてきたバスケットをいくつかの理由で辞めてしまいます。そして、ジャズダンスという新しい世界に進んでいきます。その間の心情の変化を主人公に寄り添いながら、個人で考えたり周りの人と意見を交わしたりしながら考えを深めていきました。

甲斐先生(英語)

3月11日(月)8年1組で行われた甲斐先生による英語の公開授業。研究主任として学校全体の授業研究を牽引しているだけあって新しい時代の授業提案でした。

従来の一斉授業とは明らかに一線を画したニュータイプの甲斐先生の授業。甲斐先生が提唱している一番の特徴は、個別最適化の授業です。自分のペースで学習が実にスムーズに進められています。この日だけではなく常日頃からこうした授業形態に取り組んでいます。タブレットもプリントも使って、リスニング・リーディングその他が各自に適した形で進んでいく授業でした。



フィナーレを華やかに飾った前生徒会長の卒業式での言葉 ～ 卒業生代表、貞光 歌さんの答辞より ～

やわらかな日差しが降り注ぎ、春の訪れを感じられる今日、私達9年生は卒業を迎えることとなりました。

3年前の春、新しい制服に身を包み、大きな期待と不安を胸に、私達はこの河東中学校に入学しました。教科ごとに先生が変わることや部活動など小学校との違いに戸惑うこともありましたが、優しい先輩や先生方に必死でついていき、少しずつ中学校での生活に慣れていきました。

8年生では、新型コロナウイルス感染拡大の不安が続く中で、様々な行事が形を変えて行われました。一番印象に残っているのが京都・奈良への修学旅行です。社会の授業で学んだ歴史ある建物を目の前にして、その迫りに圧倒されました。また、班ごとの自由行動やホテルで友達と話し合ったり笑ったりと、楽しい時間を過ごしました。様々な体験は、私達を大きく成長させ、代替わりした生徒会や部活動でも生かすことができました。

そして9年生。私達は河東中学校の最上級生になりました。

5月、最高の一日となった体育祭。私達は、体育委員長、ブロック長などを中心に一から計画を作り上げました。時には上手くいかないこと、きついこと、たくさん怒られることもありましたが、ブロック全体、学校全体で協力し、一生の思い出に残る力戦奮闘した体育祭でした。

10月の文化祭では、クラス、学年、学校全体が団結して、学校中に素敵なハーモニーが響き渡りました。9年生の学年合唱「大地讃頌」は雄大な大地をイメージして歌うことができました。たくさんの時間をかけて創り上げた文化祭は最高でした。

だんだん受験も近づいていき、中学校生活最後の行事を終えると同時に、私達は勉強に今まで以上に真剣に向き合っていました。私達の進路は一人一人違います。しかし、それぞれが志望校に合格し、晴れやかな気持ちでこの日を迎えられるよう全員で協力してきました。休み時間に互いに教え合ったり、すでに進路が決定した人は、気持ちよく勉強できるよう放課後に掃除を行ったりと最後まで学年全員で闘うことができました。これから私達は、別々の道へ進みますが、河東中で培った「相手意識と役割意識」そして「気配り、目配り、心配り」をこの先もずっと大切にしていくことを約束します。

私達は今日で卒業します。後輩の皆さん、皆さんがいてくれたからこそ、私達は先輩としての責任感を持ち、どんな困難にも立ち向かい、乗り越えることができたのだと思います。これからは、皆さんの積極性や団結力を発揮して、皆さんらしい河東中学校を創り上げてください。

そして、15年間ずっと支え続けてくれた家族のみんな、「本当にありがとうございました。」私達は、この河東中学校で様々な経験をし、心身共に成長することができました。これからもいつも通り、一緒に楽しく過ごせたら幸いです。

先生方、厳しく、愛情のこもったご指導をありがとうございました。私達一人一人の個性をここまで伸ばし、私達らしい学校生活を送れたのは、先生方のおかげです。当たり前言葉に交わした日々が今日で終わってしまうと思うと本当に寂しいです。またいつか先生方と笑って話せる機会があることを楽しみにしています。3年間共に過ごした仲間達。本当は、もっとここにいて一緒に過ごしたい。でも、皆と過ごしたこの3年間に悔いはありません。これからそれぞれ違う道を歩みます。その道の向こうにどんなことが待ちうけているかわかりません。立ち止まりそうになったときは、河東中での日々を思い出し、私達の心はいつもつながっていると信じて前に進んでいきましょう。

名残は尽きませんが、お別れのときです。最後は私達らしく「フィナーレを華やかに」飾ります。今まで本当にありがとうございました。河東中学校のご発展をお祈りし答辞とさせていただきます。

令和6年3月8日 卒業生代表 貞光 歌

